

保育園児の感染性胃腸炎の発生について(報告)

1 発生場所概要

名称：飯田市殿岡保育園（飯田市下殿岡）

園児：82名（5歳20名、4歳27名、3歳14名、2歳10名、1歳11名）

職員：15名（園長1名、保育士15名、調理員2名）

2 経過

11月30日(金)10:00

25名の園児が、29日(木)の降園後から30日(金)登園前にかけて家庭で嘔吐し病欠。(重篤者なし。)即時に飯田保健福祉事務所へ連絡。登園している園児2名にも同様の症状が認められたため早退とし、同様の症状があった職員2名についても出勤停止とした。

同日 13:30-15:30

飯田保健福祉事務所による現地調査。その際、症状のあった園児10名、職員2名及び調理従事者2名に検便を依頼。また、26日(月)から29日(木)の給食サンプルを提出。

同日 16:00

全家庭の協力のもと12月1日(土)の休園を決定。同月3日(月)以降は開園するが、検査結果が出るまで給食を自粛することとした。閉園後、園の消毒作業を実施。

12月1日(土)

全職員(症状のある者を除く)により、施設全館の徹底した清掃・消毒作業を実施。

12月3日(月)《同様の症状による病欠児10名》

飯田保健福祉事務所より連絡。『症状のあった園児と職員の検便からノロウイルスが検出された。症状のない調理従事者からは検出されなかった。』

12月4日(火)《同様の症状による病欠児2名》

飯田保健福祉事務所より連絡。『給食サンプルからウイルスは検出されなかった。』

12月5日(水)《同様の症状による病欠児1名》

徹底した施設消毒を実施したこと、給食が原因でないこと、保菌が疑われる職員はすべて出勤停止していることから、給食を再開。

3 総括と対応

- ・ 感染経路は特定されないが、何らかに付着したノロウイルスが園内に持ち込まれたものと考えられる。
- ・ 事案発生に対しては、早期判断により二次汚染を排除し、一斉消毒を実施するなど初動体制に心掛けた。
- ・ 園長会において、ノロウイルスの強い感染力を再認識しあい、園や家庭での手洗いの徹底を図ったところ。
- ・ 市は、地域への感染症拡散を防止するため、いち早く施設名を公開し報道したもの。ノロウイルスやインフルエンザの流行期であることから、ひきつづき各園から各家庭へも、手洗い・うがいによる感染予防の啓発を図る。

以上